



大分空港開き 東九州空の玄関誕生

東九州の空にコバルト色のエアライントを引いた民間航空場は、昨年七月着工以来工費一億円をかけて、完成した。

飛行場は、式は午前十一時から始められました。開始前すでに飛行場工事には、開港祝賀に参加した日航セスナ、毎日、朝日、西日本航空協会所属の各機の外宮崎航空大学の双発機、青屋基地からスタートン司令官を乗せたG.I輸送機など計八機が勢ぞろいして、はでやかな小一ノ子を運んで、また各機尾隣に停る一大航空ページ展開するなど集まつた五千の鶴衆を楽しませました。

また飛行場灯台では紅白のモチ麦が行われます。午後時大分飛行場

大和寺は、午後時大分飛行場に飛来して、四時過ぎまで数回にわたりて招待飛行を行いました。午後四時五十分出発に際して、パイロット、スマーテス三市代表ミス大分空港にそれぞれ花束が贈呈され、ミスは大阪府知事、関西県人会長宛のメッセージを持つて大阪へ向け飛立つて行きました。

